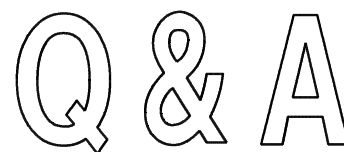


仙台二華中学校・高等学校の学校生活

中高一貫教育と入学者選抜・事務手続き



このQ&Aは、昨年までの学校説明会の際に参加者の皆様から寄せられた御質問に対する回答や、ホームページ上で回答している内容も含め、令和3年7月時点での仙台二華中学校・高等学校の学校生活や入学者選抜等についての概要をまとめたものです。

【中高一貫教育について】

Q1:中高一貫教育の良さはどんなところにありますか。

A:主に、次のような良さがあります。

- ① 6年間の計画的・継続的な教育活動が展開でき、一貫した教育が可能になります。
- ② 6年間にわたり生徒を継続的に指導することにより、生徒の個性を伸ばしたり、優れた才能を発見したりしやすくなります。
- ③ 中学校1年生から高校3年生までの異年齢集団による活動を行うことにより、社会性や豊かな人間性をより一層形成することができます。
- ④ 高等学校入学者選抜の影響を受けることなく、ゆとりある学校生活を送ることができます。

Q2:中高一貫教育校には、どんなタイプのものがありますか。

A:次の3つのタイプに分かれます。

- ① 中等教育学校
→中学校・高等学校が一体化した学校で、基本的には中学校1年生で入学した生徒が、6年間同じメンバーで過ごします。
- ② 併設型の中学校・高等学校
→設置者が同一である中学校と高等学校が接続するかたちで、併設中学校から入学する生徒と他の中学校を卒業して高等学校から入学する生徒がお互いに切磋琢磨し、高め合います。
- ③ 連携型の中学校・高等学校
→設置者が異なる中学校と高校でも可能な形態であり、中学校と高等学校が連携を深めるかたちで中高一貫教育を実施するものです。

Q3:仙台二華中学校・高等学校はどのタイプですか。

A:併設型の中高一貫教育校です。

Q4:仙台二華中学校・高等学校は中高一貫教育校としてどんな資質や能力の育成を目指していますか。

A:6年間を見通した系統的なカリキュラム編成や「世界の水問題の解決」をテーマとした探究型の学習を通して、高い学力や課題解決能力を身に付けさせるとともに、豊かな心や優れた人間性を涵養し、世界に貢献できる骨太の人材づくりを目指しています。

Q5:仙台二華中学校から仙台二華高等学校へは全員が進学できるのですか。その際選抜試験はありますか。

A:仙台二華中学校の生徒は、所定の手続きを経て入学者選抜試験なしで仙台二華高等学校に入学できます。

Q6: 仙台二華中学校から他の高等学校への進学はできるのですか。

A: 可能です。ただし、他の高等学校への進学を希望する場合は、仙台二華高等学校には進学しない旨の手続きを行うこととなります。基本的には併設型中高一貫教育の良さを理解し、6年間仙台二華中学校・高等学校で学びたいという強い意思をもって入学していただきたいと思えます。

Q7: 高等学校から入学する生徒と仙台二華中学校から進学する生徒は、高等学校のクラスは一緒ですか。

A: 中学校卒業時の学習進度に違いが生じているので、高校1年次は仙台二華中学校からの進学者（一貫生）3クラスと、他の中学校からの入学者（高入生）4クラスを別々のクラスに編制します。高校2, 3年は文系・理系の別や進路希望に応じたクラスを編制しますので、一貫生と高入生が混合したクラスになります。

Q8: 仙台二華中学校・高等学校から、他の中学校や高等学校への転学・編入学はできますか。

A: 保護者の転勤等やむを得ない事情で転学しなければならない場合には、
① 中学校の段階では、各市町村立中学校に転学できます。公立中高一貫教育校への転学については、当該校の規定によります。
② 高等学校の段階では、通常の高高等学校の転編入学と同様の手続きを経て、他の高等学校への転編入学が可能です。

Q9: 仙台二華中学校に入学できなかった場合、地元の中学校への入学に特別な手続きが必要ですか。

A: 特別な手続きは必要ありません。

【仙台二華中学校・高等学校の学習について】

Q10: 仙台二華中学校のカリキュラムの特徴は何ですか。

A: 学力の基礎となる内容を確実に定着させながら、発展的・応用的な内容に進んでいく系統的な教育課程を編成しています。中学校・高等学校ともに1コマ45分の1日7コマ、週35コマの授業を行っています。国語・数学・英語は各学年とも週5時間（国語はTMを含む）、理科・社会についても週4～5時間の授業を設け、標準より多い設定となっています。また、中学校・高等学校を通し、教科横断的・探究的な学習を行います。中学校では総合的な学習の時間の学習と連動しながら各教科で発展的な言語活動を扱い、また論理的思考力や表現力を育成するための「TM（シンキング メソッド）」・「EP（イングリッシュ プレゼンテーション）」も設けています。

Q11: 「総合的な学習の時間」の具体的な内容を教えてください。

A: 仙台観光国際協会(SenTIA)等と連携した学習活動を通して国際的な視野を広げるIS（インターナショナル スタディ）と、自然のフィールドでの巡検から「研究する」体験までを学ぶSR（サイエンティフィック リサーチ）、そして将来の夢の実現をしっかり支える進路指導であるCS（キャリア スタディ）の3領域を設けた本校独自の教育活動を行っています。

Q12: 教科書は特別なものを使うのですか。

A: 県教育委員会が採択した文部科学省検定済みの教科書を使います。併せて、中高一貫教育校向けに編集された副教材やプリントなども用いて、学力を高めていきます。

Q13: 中学校の授業の進め方について教えてください。

A: 授業は学習指導要領に基づいて行います。教科や単元によっては、高等学校の関連する内容を発展的に学んだり、重要な部分にはじっくり時間をとって定着を図ったりします。また、高等学校の教員が中学校で指導したり、中学校の教員が高校で指導したりするなど、中高教員の連携を通して、中高6年間の学習がスムーズに流れていくように学習指導計画を定めています。

Q14: 他の中学校から仙台二華高等学校に入学した生徒と仙台二華中学校から仙台二華高等学校に入学した生徒では、学習進度に違いがありますか。

A: 中高一貫教育校では6年間の学習内容を計画的・継続的に指導する中で、教科の系統性を生かし、発展的な内容として高等学校の内容を中学校で学ぶことが認められており、教科によっては、中学校で高等学校の学習内容を一部移行し学習することもあります。仙台二華中学校では本来高等学校1学年で学習する数学Ⅰの3単位中2単位を中学校3学年で履修しています。また、高等学校の学習内容を発展的な学習として取り扱っている教科もあります。このように、他の中学校から入学した生徒と仙台二華中学校から進学した生徒では、学習進度や学習した内容に違いがあります。これらを補うため、他の中学校から入学する生徒には、授業内容を工夫したり、数学については教育課程を別にしたりして対応しています。

Q15: 授業の進め方で「TT(チーム・ティーチング)方式」とはどんな方法ですか。

A: 複数の教師がチームをつくり役割を分担しながら効果的に授業を行う指導形態で、少人数指導を行う場合もあります。現在、仙台二華中学校では、数学科と英語科の授業において取り入れています。

Q16: 学校と家庭の勉強だけで学力は身に付きますか。

A: 本校では、授業を大切に、家庭学習をしっかり行うことが最も大切であると考えています。予習－授業－復習の学習サイクルを構築させることにより、学力向上を図ります。また、各教科においては個々の生徒の学力状況に応じて、個別の指導や補習も行います。

Q17: 勉強に後れをとっている生徒にはどんな対応をしていますか。

A: 勉強に遅れが生じないように、一人一人の学習状況や学力をきめ細かく把握しながら授業を進めています。また、学級担任との面談も繰り返し行い、相談に応じたり、助言したりしています。万が一遅れが生じた場合には、原因をつきとめ、個別指導や補習などによって、遅れを取り戻すよう努めています。また、基礎的な内容に焦点を当てた実力テストを実施し、その定着度を把握し指導に生かすようにしています。

Q18: 1コマの授業時間や週の授業時数はどのようになっていますか。

A: 授業は1単位時間45分間とし、毎日7コマ、週35コマの授業を展開することで標準より多い授業時数を確保しています。

Q19: 土曜日は休みですか。また土曜日や夏季休業中に活動があるとすればどのような内容ですか。

A: 土曜日は基本的に授業を行いませんが、部活動によっては活動する場合があります。(高等学校では必要に応じて課外授業などを予定しています。)また、夏季休業中は、部活動、総合的な学習の時間の調べ学習、文化祭の準備などの時間を設定し、活動を行っています。

Q20: 世界に向けて視野を広げるために、どのような活動をしていますか。

A: 総合的な学習の時間に異文化体験ができるような学習を計画しています。また、中学校2学年でイングリッシュキャンプ、高校2年次で全生徒を対象とする海外研修、中学校2年生の希望者から選抜した14名を対象としたシンガポールの中学校との学校間交流事業、そして高校1、2年次の希望者から選抜した18名程度を対象としたアメリカデラウェア州の高校との交流事業をそれぞれ実施しています。

(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う国内の情勢に鑑み、海外研修とシ

ンガポールとの学校間交流は全て中止となっています。)

Q21:市町村立中学校には「職場体験活動」がありますが、仙台二華中学校にはありますか。

A: 中学校2学年の総合的な学習の時間の中で2日間の職場体験を行っています。(CS キャリア スタディ)
(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う国内の情勢に鑑み、職場体験は全て中止となっています。)

Q22:定期テストや実力テストは年に何回実施しますか。

A: 仙台二華中学校では、年に9回のテストがあります。本校は2学期制をとっており、生徒の学習状況を細かく評価するために、年間4回の定期考査を実施します。その他に、夏季、冬季の休業後に課題テストや実力テストを行っています。また、全国的な規模で行われるテストに年間3回参加し、客観的に把握した生徒一人一人の学力を分析し、日常のアドバイスや継続的な指導に役立てるようにしています。

Q23:図書館の蔵書は中学生向けのものもありますか。

A: 中高一貫教育校への移行に向け、開校前から中学生向けの図書を少しずつ購入してきましたが、平成21年度からは、中学校分の図書購入費が予算化されていますので、中学生向けの図書の購入を計画的に進め、読書環境の整備と充実に努めています。

Q24:国際バカロレアとはどのような教育ですか。

A: 国際バカロレアは世界的に認められている教育プログラムの1つです。グローバル時代に対応した教育プログラムを通して、国際的に認められている大学入学資格(国際バカロレア資格)を取得することができます。仙台二華高等学校は、令和2年9月1日、国際バカロレア機構によりIBワールドスクールとして正式に承認され、令和3年4月より、国際バカロレア類型を選択した高校2年次生8名で授業が開始されました。

【仙台二華中学校・高等学校の学校生活について】

Q25:校歌や校章は第二女子高等学校のものから変わったのですか。

A: 母体となった第二女子高等学校の校歌、校章を継承しました。ただし、男子が制服に着用する校章の色は黒となります。

Q26:校舎の耐震性やシックハウス問題について、具体的な対策を教えてください。

A: 校舎は、新耐震基準法に基づき建築されています。東日本大震災では校舎の壁にひびが入る等の被害はありましたが、構造上の問題はなく通常の教育活動に支障はありませんでした。また、シックハウスについては、これまで空気測定と化学物質の除去並びに低減に向けて換気や水拭き等の対策を講じてきており、現在は正常値の範囲内で推移しています。今後も引き続き換気の徹底等に留意しています。

Q27:教室に冷房設備はありますか。

A: 昨年度から、中学校の普通教室や特別教室にも、エアコン(冷房)が設置されました。

Q28:7階建ての校舎ですが、エレベーター利用のルールはありますか。

A: 特にルールは設けていません。来客者が多いときなどは階段を使うことを奨励しています。また、ケガ等の身体的理由で利用が必要な場合は、優先的に利用できるように対応しています。
(令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、利用を自粛しています。)

Q29: 全県が学区となりますが、寮の設置やスクールバスを運行する予定はありますか。

A: 寮の設置やスクールバスを運行する予定はありません。親元から通学することが望ましいと考えています。

Q30: 通学可能な時間の目安としてどのくらいを考えたらいですか。

A: 学校として特に通学時間の制限は考えておりませんが、御家庭でお子様の体力等を考慮して、中高の6年間にわたって通い続けることが可能かどうか、慎重に御検討ください。

Q31: 学校まで自転車で通学することは可能ですか。

A: 通学は、徒歩並びに公共交通機関の利用が原則ですが、高校生については、自転車による通学を希望する場合、届け出による許可制としています。中学生については、交通量の激しい学校周辺の立地事情を考慮し、自宅から学校まで直接自転車で通学することは禁止していますが、自宅から最寄りの公共交通機関の駅までの自転車通学を希望する場合には、保護者からの届け出により許可しています。
(令和3年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、中学生も希望する場合は届け出による許可制としています。)

Q32: 通学のための公共交通機関にはどのようなものがありますか。

A: 学校はJR仙台駅から徒歩15分、地下鉄南北線の五橋駅から徒歩7分、地下鉄東西線の連坊駅から徒歩7分、宮城野駅から徒歩9分のところにあります。また、名取市、太白区方面からの仙台市営バスや宮城交通バスの大半は、五橋駅または五橋1丁目に停車し、そこから徒歩7分です。

Q33: 仙台二華中学校・高等学校の母体校は女子高ですが、実際の合格者の男女比に偏りがあった場合は、クラス分けはどうなっていますか。

A: 中学校は男女混合でのクラス編制を行っています。高等学校については、偏りがあった場合は女子クラスを編制したことがあります。今年度は全クラスが男女混合クラスとなっています。

Q34: 中学校の1クラスの人数は何人ですか。また、クラス替えはどうなっていますか。

A: 3学年とも1クラス35名の3学級編制(全校では9学級)です。クラス替えは毎年行います。

Q35: 携帯電話に関してどのようなルールがありますか。

A: 中学生については、携帯電話に関する規定をあらかじめ定め、携帯電話の校内への持ち込みは原則として禁止していますが、遠方からの通学等、やむを得ない事情で校内に持ち込むことを希望する場合は、保護者からの申し出により許可しています。その場合も、朝のSHRで学級担任に預け、校地内での使用はメールも含め、禁止しています。高校生については、携帯電話を校内に持ち込むことに関して、許可の申請は必要ありませんが、校内では必要のない限り電源を切っておくというルールを定めています。

Q36: 中学校と高校では、始業時刻は違いますか。また、授業の開始、終了時刻と部活動の終了時刻はどうなりますか。

A: 中学校・高等学校とも始業時刻は8時30分ですが、10分前までに登校し、中学生は朝の読書、高校生は朝の自主学習に取り組むことにしています。授業の開始、終了は基本的に中学校・高等学校共通です。なお、中学校・高等学校それぞれの下校時刻は次のとおりに設定しています。

	時 期	部活動終了	下校時間
中学校	4月～3月	17:45	18:00
高等学校	4月～3月	18:00	19:00

* 体力差や通学の負担を考慮して下校時刻は中学校・高等学校別の設定としています。
(中学校1年生は4月中は17時下校です。)

Q37: 仙台二華中学校の入学選抜や進学に際して必要な経費について、具体的な金額を教えてください。

A: 入学選抜では、受検の際に選抜手数料として2,200円が必要です。

入学金や授業料はありませんが、制服代や体育着代、副教材費等のほか、宿泊行事費などが必要となります。

なお、令和3年度入学生の制服等の費用は次のとおりとなっています。

【参考資料】

(実際の値段は変更になる場合があります。令和3年度入学生10%税込み価格)

	品名	単価(円)		運動着関係(指定品)	単価(円)
男子用	男子上着	28,600	共通	スタンド衿半開ジャケット	4,972
	男子スラックス	13,970		ストレートパンツ	3,817
	長袖シャツ(指定)	5,170		Tシャツ	2,310
	夏用スラックス	11,990		ハーフパンツ	2,772
	半袖シャツ(指定)	4,840		Tシャツ(綿100%,希望購入)	2,772
	上靴	4,600		体育館用シューズ	4,250
	女子用	女子上着		26,070	*セーターは指定品の購入、ベストは希望者のみの購入となります。 *中学生のカバンについては、学校として特に指定品、推奨品はありません。用途やお子様の体格に応じて、体に負担のないものを保護者の判断で選んでいただくこととなります。
スカート		15,730			
長袖ブラウス(指定)		5,390			
夏用スカート		14,740			
半袖ブラウス(指定)		5,170			
女子スラックス		14,520			
上靴		3,300			
*セーター: 5,720		ベスト: 4,510			

Q38: 高校生で1年間留学した場合、帰国後の進級の扱いはどうなりますか。

A: 留学先の学校の単位が本校の単位として認められるかどうかで扱いが変わります。随時御相談ください。

Q39: 中学校で給食は実施しますか。

A: 仙台二華中学校では、弁当の持参を奨励し、中学校では牛乳のみを提供する「ミルク給食」を実施しています。弁当を通じて親子の絆を強め、食について考えを深めてほしいとの願いからです。なお、牛乳に対してアレルギー等のある生徒については随時相談に応じます。弁当を準備できない場合には、当日に食堂のテイクアウト弁当(令和3年度450円)を購入することもできます。

Q40: 部活動には必ず入らなければならないのですか。

A: 中学校、高等学校での部活動は豊かな人間性を養うための重要な教育活動であると考えていますので、全員少なくとも1つの部に所属することとしています。

Q41:令和3年度は中学校においてどのような部活動が開設されていますか。

A:令和3年度の開設部活動及び令和3年5月現在の中学生の部活動入部状況は次のとおりです。

		1年			2年			3年			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	サッカー男子	5	0	5	6	0	6	7	0	7	18	0	18
2	ソフトテニス	10	5	15	8	2	10	6	7	13	24	14	38
3	バドミントン	2	6	8	6	9	15	10	3	13	18	18	36
4	卓球	2	8	10	10	3	13	8	3	11	20	14	34
5	バレーボール女子	0	3	3	0	2	2	0	4	4	0	9	9
6	バスケットボール女子	0	4	4	0	4	4	0	2	2	0	10	10
7	新体操女子	0	6	6	0	1	1	0	4	4	0	11	11
8	陸上競技	6	4	10	6	2	8	6	4	10	18	10	28
9	水泳	6	2	8	1	1	2	3	1	4	10	4	14
10	ソフトボール女子	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
11	剣道	3	2	5	4	2	6	5	2	7	12	6	18
12	音楽	0	4	4	0	7	7	0	7	7	0	18	18
13	美術	1	7	8	0	9	9	1	3	4	2	19	21
14	書道	2	4	6	1	2	3	2	4	6	5	10	15
15	自然科学	12	1	13	16	3	19	7	4	11	35	8	43

Q42:部活動については、どのような活動を目指すのですか。

A:中学校、高等学校での部活動は豊かな人間性を養うための重要な教育活動の場であると考えています。中学生については、7時間授業の実施や下校時間の関係で、放課後十分な時間を確保することが難しい日もありますが、限られた時間の中で集中して練習に取り組み、部員同士や異年齢集団での交流を通して、豊かな人間形成に資する場にしたいと考えています。

Q43:中学生の部活動は、高校生と一緒に活動することになりますか。

A:中高一貫教育校の良さを生かすために、中学校・高等学校の部活動が一体化した活動を行う方針のもとに部活動を運営しています。運動部では中学1年生から高校3年生までとなると技術や体力の面でも相当の差があるので、それぞれに活動する場合もあるのですが、どの部も合同で練習したり、練習の一部を高校生と一緒にに行ったりするなど中高一貫教育校の良さを生かそうとしています。

Q44:部活動の公式対外試合や発表会など、他の公立中学校と同様の大会等に参加できますか。

A:運動部については、中学校体育連盟に加盟し、他の公立中学校と同様の大会等に参加します。

Q45:高等学校部活動への早期入部制とはどのような制度ですか。

A:一般の中学校では、中学校3年生の最後の大会やコンクールを契機に部活動を退くこととなりますが、本校は中高一貫教育校の特色の一つとして、高校入試がありません。そのために、中学校の部活動を退いた生徒は所定の手続きを経て高等学校の部活動に早期入部することができます。この早期入部制度により、部活動の空白期間がなくなり、自分の個性を伸ばせる部活動を継続して続けることが可能になります。中総体終了後は仮入部、10月から正式な早期入部となります。早期入部後も活動時間など中学校の部活動のルールの中での活動となります。また、高等学校入学後は改めて部活動に入部の手続きをすることとなります。

Q46:学校行事はどのようなものがありますか。

A:第二女子高等学校時代から実施している合唱コンクールや文化祭、体育大会などの伝統的な行事を継承し、男女共学の中高一貫教育校として様々な工夫をしながら新たな伝統を創り上げています。生徒が中心となり行事を企画し、中学校・高等学校の生徒が一緒になって参加し毎年大いに盛り上がりを見せます。こうした行事に中学生も合同で取り組むことにより、高校生の先輩と関わり合い、行事への取組を通じた人間的成長が期待できます。また、中学生の縦割り活動も取り入れ、上級生のリーダー性の育成にも努めています。

Q47:高校も含めた中高の先輩、後輩の関係はどのようなものですか。

A:一般の中学校と同様、3年生は中学校の最高学年としての自覚をもち、手本となって1、2年生をリードしています。また、高校生も行事や生徒会活動、部活動など、様々な場面で中学生に手本を示し、尊敬する先輩として交流しサポートしています。

Q48:教員数は他の公立に比べて多いのですか。

A:義務教育学校の教職員定数は法律により定められており、それに基づいた教職員数となります。

Q49:PTA組織はどうなっていますか。

A:名称を「仙台二華中学校・高等学校PTA」とし、中高の組織を一体化して活動しています。また、中学校PTAは仙台市PTA協議会に所属して活動するなど、中学校独自の活動にも意欲的に取り組んでいます。

Q50:同窓会組織はどうなっていますか。二女高同窓会と統合したのですか。

A:従来と同窓会(二華会)の組織がそのまま継続され、仙台二華中学校及び仙台二華高等学校の卒業生はそのまま正会員となります。なお、在学生(中学生・高校生ともに)は準会員となります。

Q:51研修旅行を国内にしたのはなぜですか。

A:仙台二華中学校・高等学校では、中学校3年生と高校2年次で海外研修旅行を実施してきました。中学校の海外研修旅行は、国際社会でたくましく生き抜く生徒を育成する上で、大変有意義なプログラムでした。また一方で、開校10年の節目を迎え、より良い6年間の系統的な学びを検討する中で、国内研修の必要性についても話し合いが行われてきました。グローバルな人材の育成には、まずは自国の文化や歴史を知らなければならないという観点からです。中学時代に日本文化を知る上で貴重な場所の一つである広島・京都で研修を行い、日本文化を理解・体験させた上で、高校で海外研修旅行を経験すれば、海外の文化と自国の文化を比較して、よりグローバルな視野を身に付けられるのではないかと考えました。以上の理由から、令和3年度より中学校の研修旅行を国内にしています。

【仙台二華中学校・高等学校の進路指導について】

Q52:進路目標の達成のために、特別な指導は行いますか。

A:仙台二華高等学校では、大部分の生徒が大学進学希望であることから、多様な学部・学科はもちろん、医歯薬学系学部など難関大学入試に対応した教育課程を編成しています。また、通常授業に加え、放課後や土曜日の課外授業、長期休業中の課外や学習会、個別小論文指導等も行っています。これらの指導を継続していきながら、さらに、中学校においても中高一貫教育校の特色を生かし、学級活動や総合的な学習の時間等において6年間を見通した系統的な進路指導を行うとともに、個別面談の充実などにより、一人一人の意欲を高め、進路目標の確実な達成を目指します。

Q53:学校の勉強だけで大学受験に対応できますか。

A:仙台二華高等学校では、難関大学にも現役で合格させる指導法を蓄積し、県内屈指の大学現役合格率を誇っています。質の高い授業と、一人一人の進路希望を支援するシステムが整っています。

Q54:卒業生の進路状況は、どうなっていますか。

A:仙台二華中学校・高等学校のホームページにあるパンフレットに、卒業生の大学合格状況を掲載しています。

【仙台二華中学校の入学者選抜について】

Q55:どのような児童に志願してほしいですか。

A：仙台二華中学校の校訓や教育方針，教育目標についてよく理解し，自分に向いているか，通学時間も考慮して6年間通えるかなど，将来を見据え，しっかりとした目標をもった児童に志願してほしいと考えています。

Q56:募集定員は男女別ですか。

A：男女別の定員枠は設けておりません。

Q57:学区や，通学時間の制限はありますか。

A：学区は県内全域です。通学時間の制限はありませんが，通学に伴う体力的，精神的な負担や6年間通うこと等を考慮し，出願するかどうかを判断してください。

Q58:他の中高一貫教育校と併願することはできますか。

A：県内の他の公立の中高一貫教育校と併願することはできません。具体的には，古川黎明中学校や仙台市立仙台青陵中等教育学校との併願はできません。

Q59:選抜に備えて身に付けておかなければならないのは，どのようなことですか。

A：まず，小学校の授業を大事にして小学校の学習内容をしっかり身に付けてください。また，校内外の活動に積極的に参加することも大切なことと考えています。

Q60:好奇心や探究心は備えていますか，小学校の学習だけで足りるのでしょうか。

A：小学校の授業を大事にして小学校の学習内容をしっかりと習得し，粘り強く取り組む学習態度を身に付けることが大切です。さらに好奇心や探究心が読書や自由研究，様々な活動に生かされ，自ら考え表現する力が次第に育まれ，総合的に生きてはたらく力に発展していくものと考えます。

Q61:仙台二華中学校への推薦入学の制度はありますか。

A：県立中学校では推薦による入学者選抜は実施しません。

Q62:総合問題・作文・面接・調査書の点数の比率をなぜ公表しないのですか。

A：配分比率等については，選考の過程の一部と考え公表しないこととしています。

Q63:総合問題の問題数と検査時間を教えてください。

A：総合問題の問題数についてはお答えできません。検査時間については，総合問題を60分間で実施します。

Q64:総合問題に外国語(英語)は出題されますか。

A：令和4年度宮城県立中学校入学者選抜から，適性検査の総合問題として外国語(英語)のリスニングを実施します。リスニングの検査問題は，10分間です。これまで出題してきた総合問題60分間とは別に設定します。詳しくは，宮城県教育委員会のホームページを御覧ください。

Q65:作文の検査時間と解答の字数を教えてください。

A：作文の検査時間については，40分間で実施します。字数についてはお答えできませんが，参

考までに令和3年度入学者選抜では400字以上500字以内で書く問題でした。

Q66:面接の時間と実施方法(児童の数,面接官の数,質問内容等)を教えてください。

A:令和4年度入学者選抜の面接は集団面接で実施します。その他は今後検討していきます。

Q67:面接では,どんなことが質問されますか。

A:宮城県教育委員会が公表している「令和4年度県立中学校入学者選抜方針及び概要について」では、「面接は,志願理由書を参考資料として,志願の動機や学習への関心・意欲,長所等を多面的にみる。」としております。この方針に基づいて今後,検討していきます。

Q68:受検に関して,一連の流れの中で保護者が参加することもありますか。

A:受検するのは児童本人のみで,面接も含め,保護者が参加することはありません。

Q69:検査中,体調が悪くなり退室した場合,回復後,検査は続けて受けられますか。

A:体調が思わしくない場合には別室で受検することも可能ですが,検査は時間内のみとなります。

以下は,「令和3年度宮城県立中学校入学者選抜募集要項」を参考にして,作成したのですが,現時点で明らかになっている部分については令和4年度の募集についてお答えしてあります。

【仙台二華中学校の出願・事務手続きについて】

Q70:出願する時には,どのような書類を提出するのですか。

A:すべての出願者は,次の書類を提出してください。

- (1) 写真票(出願者の上半身の写真1枚を貼ってください。縦4cm×横3cm)・入学願書(宮城県収入証紙〔2,200円分〕を貼ってください。)・受検票
※収入印紙と間違えないよう注意してください。
- (2) 志願理由書
- (3) 受検票送付用封筒
- (4) 結果通知用封筒
- (5) 調査書(出願者の在籍する小学校長が作成し厳封したもの)

なお,県外からの出願者は,上記(1)～(5)のほかに,県外からの出願承認書を提出してください。

Q71:出願書類の書き方等について教えてください。

A:

- (1) 写真票・入学願書・受検票
- (2) 志願理由書
県立中学校に志願する理由等を,出願者が自筆でペン書き(黒)をしてください。
- (3) 受検票送付用封筒
選抜募集要項にはさみ込まれている封筒を用い,郵便番号,保護者住所,保護者氏名,出願者氏名を記入の上,指定の金額の切手を貼ってください。
- (4) 結果通知用封筒
選抜募集要項にはさみ込まれている封筒を用い,郵便番号,保護者住所,保護者氏名,出願者氏名を記入の上,指定の金額の切手を貼ってください。

(5) 調査書

在籍する学校の担任の先生を通じて、校長先生に作成を依頼してください。

Q72:出願の方法や注意すべき点について教えてください。

A:

(1) 出願方法

直接、仙台二華中学校内の受付窓口に持参するか、仙台二華中学校長あて郵送で提出してください。

郵送で出願する場合は、選抜要項にはさみ込まれている角型2号封筒を用い、出願者及び保護者の氏名、現住所を記入の上、必ず「簡易書留速達」で送付してください。

(2) 出願期間

仙台二華中学校内の受付窓口での受付期間及び時間は以下のとおりです。

- 令和3年11月29日(月) (午前9時から午後4時まで)
- " 11月30日(火) (午前9時から午後4時まで)
- " 12月1日(水) (午前9時から午後4時まで)
- " 12月2日(木) (午前9時から午後4時まで)
- " 12月3日(金) (午前9時から午後3時まで)

また、郵送の場合は、12月3日(金)午後4時必着ですので注意してください。

Q73:出願者の写真はスピード写真でもさしつかえありませんか。

A: 出願者本人であることが確認できれば、証明用のスピード写真でも結構です。また、カラーでも白黒でもかまいませんが、無帽で正面を向いた上半身の写真にしてください。

Q74:宮城県収入証紙はどこで取り扱っていますか。

A: 宮城県収入証紙は、次のところで取り扱われています。

- 県庁中央売店・県合同庁舎売店
- 各県税事務所
- 県内各金融機関(七十七銀行、仙台銀行、宮城第一信用金庫、杜の都信用金庫など)
郵便局では取り扱っていませんので注意してください。なお、県外については、七十七銀行各支店で取り扱っています。ただし、県内では令和2年10月1日より、七十七銀行の収入証紙取扱店舗が大幅に縮小されました。宮城県や七十七銀行のホームページで御確認ください。

Q75:身体に障害がある等の場合は、検査にあたって配慮してもらえますか。

A: 総合問題や作文、面接を行う際に、特別な配慮が必要と思われる場合は、まず在籍する小学校や特別支援学校の校長先生に相談してください。

配慮が必要な場合には、校長先生から提出された受検上の配慮申請書の内容に基づいて県教育委員会と協議し、必要に応じて対応することになります。

Q76:海外帰国者等が受検する場合、何らかの配慮を受けられますか。

A: 基本的には、上記「身体に障害がある等の場合」に準じた取扱いになります。

Q77:選抜結果の発表はどのように行いますか。

A: 選抜結果は、すべての受検者に対して選抜結果通知書を郵送する方法で発表します。発表日になっている令和4年1月14日(金)の午後4時に、本人及び在籍小学校へ親展文書で送付します。

Q78:入学予定者になった(合格した)場合、どのような手続きが必要ですか。

A : (1) 入学確約書の提出

入学予定者の保護者は、入学確約書を仙台二華中学校・高等学校長に、令和4年1月18日(火)から1月21日(金)午後3時まで提出してください。提出方法は、持参でも郵送でもかまいません。郵送の場合は簡易書留扱いとし、期限内に必ず届くように余裕をもって発送してください。

なお、入学確約書を期限内に提出しない入学予定者は、入学を辞退したものとみなされますので御注意ください。

(2) 市町村教育委員会への届出

入学意思が確認された後、仙台二華中学校・高等学校長が直ちに入学許可予定者証明書を交付しますので、速やかに居住する市町村の教育委員会に同証明書を持参して当該市町村立中学校に入学しない旨を届け出てください。

Q79:欠員の補充はありますか。また、手続きはどうなりますか。

A : 入学予定者の発表後、令和4年1月21日(金)までに、入学確約書の提出者が募集定員に満たなかった場合は、欠員の補充を行います。その場合、補欠入学予定者の保護者には、令和4年1月24日(月)から2月10日(木)までの間に、電話で直接入学意思を確認する場合があります。またその際に、その後の手続きの仕方等についても、説明します。

Q80:志願理由書の志望動機の欄は、子どもが書くのですか、保護者が書くのですか。

A : 志願者(児童)本人が自筆で書くものです。

Q81:調査書には何年生の成績が記入されますか。小学校で転校した場合、前の学校の成績も必要になりますか。

A : 5, 6年生の成績が記入されます。転校した場合は、現在の学校で前の学校から送付された成績も把握しているので、心配はいりません。なお、調査書の様式は、10月以降宮城県教育委員会高校教育課のホームページで御覧いただくことができます。

小学校の先生に作成を依頼し、小学校から受け取った調査書は、厳封されています。出願者本人や家族が、出願前に開封してしまった場合は無効となりますので注意してください。

Q82:郵送書類は「書留」にしたほうがよいですか。

A : 「簡易書留扱い」で提出してください。なお、締切りが全て「必着」となっていることに御注意ください。

Q83:志願者が多い場合、検査場はどうなりますか。

A : 検査場は仙台二華中学校・高等学校(若林区連坊)を予定していますが、志願者が多い場合は他の会場を使用することもあります。その場合は受検票を送付する際に連絡します。

Q84:書類に記入する氏名の漢字は、日常使用している方にかまいませんか。

A : 住民票に記載されているとおりに記入してください。

Q85:書類の記入の際に間違ってしまった場合は、どのようにすればよいですか。

A : 入学願書・写真票・受検票の場合は、誤記入の部分に二重線をひき、その上に訂正印(あるいは入学願書に使用した印)を押し、訂正事項を書き加えてください。消えるボールペン、ホワイトコレクター(修正液)等は使用しないようお願いいたします。

志願理由書の場合は、書き誤った部分を二重線で消して訂正してください。訂正印は不要です。